

議 長 休憩を解いて再開します。 (14時55分)

受付番号第5号、田代実君の一般質問を許します。登壇願います。

5 番 田 代 受付番号第5号、質問議員、第5番 田代実。件名、庶子地区の酒匂川左岸道路新設について。

山北町境から庶子坂本地区まで堤防を利用した酒匂川左岸道路を新設するため、設計委託料1,050万円が4年度予算に計上されています。この左岸道路は災害時の国道246号線の補完道路として、令和8年度の開通を目指すとのことですが、沿線住民の立場から懸案事項もありますので、次のことについて、町長のお考えを伺います。

1、多くの方が遊歩道として利用している、道路幅5メートルの車道を新設する計画だが、歩道の設置は難しいのか。

2、左岸道路が新設されると、十文字橋の町道に接続するが、沿線住民の賛同は得られているか。

3、交通量増加に伴う沿線の人身事故防止対策と新十文字橋下の町道がネック箇所となるので、バイパス新設の計画は。

以上、よろしく願いいたします。

町 長 田代議員の御質問に順次お答えをいたします。1つ目の質問になります。酒匂川左岸堤防の道路新設事業につきましては、国の社会資本整備総合交付金において、地域や拠点の連携を強化する道路ネットワークの機能確保として位置づけられた計画とし、平成29年度より、現況の地形把握のために、現況平面図の作成、路線測量の実施、走行性や安全性などを考慮した線形の決定のために、道路予備設計などを行ってまいりました。

本事業は、現道拡幅等により、道路ネットワークを形成することで、山北町との連携強化を図ることを目的とし、事業を開始しております。災害などにて、国道246号が通行止めになった際、地域住民の方々の迂回路として、また、日常の買い物や通院にも利用され、移動に要する時間が短縮されることなど、町民の方々の利便性の向上に大きく寄与することができ、本町と山北町を結ぶ延長約1キロ、計画幅員5メートルの生活道路として計画しており

ます。現在、当該道路は河川管理用道路として神奈川県が管理し、車両の通行を規制しているため、歩行者及び自転車の方のみの御利用となっております。

さて、今回整備を予定している道路幅員につきましては、松田町と山北町共通の考え方として、車両の交通帯4メートルと歩行者空間として1メートルを確保し整備を計画しており、大型車の通行につきましては規制したいと考えております。開通時の交通量から考えても、歩車道分離をした歩道設置を考えていない理由といたしましては、川側に一段下がった低水護岸に幅約1メートルから2メートル程度の通路が存在していることから、そちらを歩行者の方に利用していただけるよう、堤防から下りられる階段や沢を渡る箇所には人道橋の設置などを考え、遊歩道の機能を補完することが可能ではないかと考えているからでございます。

続いて、2つ目の御質問にお答えいたします。沿線にお住まいの方々の賛同が得られているのかという御質問につきましては、町では事前説明会を令和4年7月に予定をしておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の時期であったため、対面での開催を中止し、自治会回覧での意見募集といたしました。意見募集の期間は令和4年8月1日から令和4年8月26日の約1か月間に行いました。対象地域は、沿線自治会であります4自治会の城山、中里、かなん沢、宮前自治会、約700世帯の方となります。その結果、10件の御意見を頂戴することができ、その御意見の中には、利便性が向上し町民の増加にもつながる、車両の通行が可能になるのがうれしい、見通しがよすぎて速度超過が心配である、車両や歩行者が混在し危険であるなど、多様な御意見を頂きました。これらの貴重な御意見を踏まえながら、安全で安心して通行できる生活道路の整備を行うことを念頭に、今後も住民の皆様方の利便性の向上に向けた調整を行うことによって、御理解を賜ってまいりたいというふうに考えております。

続きまして、3つ目の御質問にお答えいたします。交通量増加に伴う人身事故防止対策についてでございます。令和4年4月に町内3か所、山北町の

県道向原交差点にて行った現況交通量調査の実施結果を踏まえて、交差点ごとの分散率や交通量配分をもとに、将来交通量を推計いたしました。推計結果により町道2-1号線、現在堤防道路に12時間交通量で126台の増加が見込まれ、朝の7時から9時のピーク時には、1時間当たり約13台の増加であり、5分に1台程度の増加が推測されます。交通量調査及び将来交通量推計により、それほど多くの交通量の増加は計算上は見込まれませんが、減速を施す路面標示や安全施設等は、実施に合わせて検討してまいりたいと考えております。

また、水防倉庫周辺から北村おとり屋さん周辺までを新十文字橋下をくぐり直接結ぶ案につきましては、河川内となり構造物の設置が困難なことや、新十文字橋の桁との有効な高さが確保できないなど多くの課題がありますが、詳細な測量や設計を行い、現実の可否について検討してまいります。検討協議に時間を要することや不可となった場合も考え、安全対策として車両同士のすれ違いを容易にし、安全な通行が可能な交差点改良に向け、新十文字橋下にある町道の河南沢橋の拡幅や、親水広場進入路入り口にあるカーブの拡幅、減速対策を検討し、安全な道づくりを目指してまいります。

本事業の推進におきましても、引き続き議会の皆様に御理解御協力をお願い申し上げます。以上です。

5 番 田 代 それでは詳細質問ということで、1から順次質問させていただきます。初めに計画の目的ですね。これ、去年の8月に全員協議会で頂いた左岸道路の事業についてと。これを見て質問等させていただきます。

まず一番初めに目的として3点あります。山北町と松田町のアクセス道路として利用。災害時の国道246号線の補完道路として利用。山北町にある商業施設等への移動時間の短縮ということで、この目的について重々理解しております。この道路については、当然山北町につながる道路で、山北と松田の広域の生活道路と、そのように私は理解させていただいております。

そこで初めにちょっとまちづくり参事に確認したいのが、左岸道路が供用開始になった場合の、広域生活道としての入り口と出口の確認です。起点と

終点。松田町については、先ほど一般質問でも私記載しましたけれど、旧十文字橋。小田原エンジニアリング事業所、郵便局の南側に堤防があって道路があると思います。そこにつながって、これが入り口・出口、起点・終点になると思います。あと一方で、新十文字橋下から町道の1号線、中里・かなん沢の地域集会所。そちらにも行く方がいられるのかなと。この2点が松田町側の起点・終点になると思います。

一方で工事は山北境の大沢なんですけれども、山北町との大沢境から上流見ますと、山北高校のグラウンド、それから尺里川沿いを上に上がって行って、店舗名で言いますと、飛騨クリニックとかクリエイトのところの県道にぶつかると思います。これが1本、山北側の起点・終点。それともう1点が山北高校までのグラウンドを行ってから、尺里川に5メートルぐらいかな、幅員、橋がもうかかっています。その橋から酒匂川左岸の堤防をずっと上がって行って、柑橘果工。それを過ぎるとぐみの木公園があります。三菱化工ですか、の工場の敷地に近いところの県道。ここが1つの起点・終点になるのかなと。そこから利用者が入ってくる、出るというふうに私は理解しております。

これについて高橋さん、そういう考えで広域生活道の起点・終点、こういう考えでよろしいでしょうか。まずその確認です。

参事兼まちづくり課長 御質問にお答えします。今おっしゃられたところが松田の起点もそれで結構ですし、山北側の起点はですね、もう1か所ぐらいたしか堤防道路に上がれるような道もあったかと思います。山北さんのほうでメインとしては酒匂川の堤防整備をして行って、ぐみの木までつなげたいというのが山北さんの基本的な考えだと思います。そのお考えで結構です。

5 番 田 代 それでは、ここで町長にお尋ねします。この町道については、山北と松田をつなぐ広域生活道と。この左岸道路、これについては今お話ししたように、山北町との関わりが大変強いというふうに感じてます。この計画立案について、山北の町長と本山町長はどのような話合いがなされたのかなと。特に山北町側の道路整備、松田は今こういう形で整備するんだよってというのは見え

てますけれども、山北側の道路整備。あとは山北の町長がどういうお考えをなされてるのかと。この2点についてお願いしたいと思います。

町長 まず1つ目の話ですね。まずこの事業については、山北町さんがどちらかといえば先行してきて、松田がどちらかといえば遅れてるのかなというふうに思って、ずっと気にはしてました。町長さんもやはり協力しながら生活道路としてお互いにメリットがあるからというようなことで考えておるところでもございますので、その辺、認識は常に山北町の町長とは持っています。これに対して近々どうこうという話はないですけども、常にお互いがそれは意識しながら、生活道路としての道をつなげていくというような認識は共通で持っているというふうに考えております。以上です。

5 番 田 代 ありがとうございます。前は向こうで押してくれてたけど。どうなんですか。その辺のルールが最近分からない。かなりこれね、集中してやるって大変ですよ。冷静でいられればいいですけど、上がってしまったときはね、非常に大変です。その辺はよろしくをお願いします。

それでは第1点目の質問です。あ、そうだ。それでまず初めに全員協議会でこの資料が示されました。それで併せて年度当初に4年度の予算、計画平面図とか橋の図面作成、こういった詳細設計を行っていくということなんですけれども。これについてざっくりした概算工事費、そういったものが分かればまずお願いしたいと思います。8年に供用開始しますよね。それまでにかける経費。主に1.1キロの区間が多いと思うんですけども、位置づけと概算工事費がどのくらいかかるのかと。お願いします。

参事兼まちづくり課長 現在、スケジュールとあと国のほうにですね、概算…交付決定を頂くための資料として提出してるものでは、令和4年度の費用も含めて、トータル事業費として1億5,590万円でございます。工事費といたしましては約1億1,000万円。そのほかのものが委託料、用地買収等の費用になっていく予定です。以上です。

5 番 田 代 では、初めこのイメージ図の確認させてください。先ほどの町長からの回答で大体分かったのを自分なりに拡大して書き入れてみました。今の説明で

すと、例えばこの橋のところ。狭くなってる、橋のところは狭くなりますよということで、これが3メートルぐらいなのかなと。この資料にも出てたとおり、道路幅員は4メートル、それ以外に歩行者空間として1メートル。これは私に山側のほうにJR側に、御殿場線側に1メートルぐらいつくのかなと勝手に思ってます。それと、あとは下の護岸堤防ですね。ここの部分についてもここも歩けるよということで、ここについて沢があって歩けないから階段をつけてこの堤防道路とすりつけると、そのように私はイメージしたんですけど。こういう考えをもとにこれから質問したいと思うんですけど、内容これでよろしいでしょうか。

参事兼まちづくり課長 幅員についてはですね、約5メートルということで、そのうちの車道を4メートル程度。歩行者空間として1メートルというのは、例えば左右に50センチずつなのか、25センチの75センチなのか。これはですね、警察と協議してですね、側線を引くときに決まってくるので、今のところ1メートルの歩行者空間があるということでございます。それから橋梁部分につきましては、おおむね3.5メートルないし3メートルぐらいに絞ってしまって、スピード抑制を、車両のスピードを落とすということです。それから御説明にあったとおり、低水護岸の上は1メートルから2メートル程度の遊歩道ですね、遊歩道整備をして、ほとんどの箇所にはですね、何メートルか置きかき、もう既に神奈川県さんが階段をつけていただいておりますので。階段はどちらかというところ一番庶子側のところにはですね、なくてですね、そこにあつたらいいなと思ってるのと、大体1メートル程度の歩行者空間はあるんですけども、低水護岸に。もう少し広いほうがいいのかというふうに考えております。以上です。

5 番 田 代 私の考え、大体乖離してないということで、ありがとうございました。それでは…。

議 長 スイッチをお願いします。

5 番 田 代 すみませんけど、議長、これ、やってもらえない。できないの。

議 会 事 務 局 長 接続がうまくいかないの、すぐには動かないの、そちらでやってもらった

ら一番早いです。

5 番 田 代 私の場合ピッチが早いから、ほかの人は結構長くやれるけど、小刻みにいくからさ。すみませんですね。遅くてもいいですからやってください。

まず1点目の関係で、この1.1キロね、大沢から庶子のおとり屋さんまでの間。現在車両通行止めなので、私も結構利用してます。そうすると結構地域の方、松田町民の方、または山北の方もいるかもしれませんが、結構散策してるんですよ。春とか秋、気持ちよさそうに本当に散歩でして、健康づくりに役立つ場所なのかなというふうに感じてます。酒匂川の水辺沿いなので、非常にいい空間だったなというふうに感じてます。

それと一方、自転車で通勤とか通学、そういうふうなことをされてる方もいますし、山北の生徒さんも見受けられます。そういった空間が、今度の先ほどの3つの目的をもって整備されることは私はよろしいのかなと思います。でも一方で、そこを利用する利用者、そういった方がなんか追い出されてしまうようなイメージも私持ったんですよ。だから、そういう中で下の低水護岸を利用すればということもありますけれども、管理がしっかりしてないと、雑草とクズバフジで歩ける状態では今、夏の時期はないんですよ。ですから自転車と歩行者の安全も考えて、4メートルの車道に同じフラットの面、ここで言うところ側です。に歩道を1メートルだとやはり狭すぎるし、先ほどの参事の説明だと、両サイドに50センチ50センチ。今までゆっくり歩けてたものが、車が中心になって歩く人が追い出されるような、そんな感じなんですよね。であれば、今のJR側、山側に2メートルとか3メートルぐらい、そういった歩道空間を造れないかどうかと。その件について質問させていただきます。よろしくをお願いします。

参事兼まちづくり課長 それでは御質問にお答えいたします。私どもが交通量調査を行ってですね、コンサルのほうに交通解析を行った結果ですね、日当たりその部分を通る車が120台程度。12時間ですね、12時間で新たに道路として開通させた後に、そこに通る車両は120台ということは1時間に10台、というような交通解析の結果が出ています。これはですね、まあちょっと少なすぎるのかなというこ

とも考えますけども、246の交通実態とかそういったことも踏まえて出した結果でございます。御指摘の歩行者空間プラス自転車の空間ということで、2メートルないし2.5メートルぐらいの歩行者空間があったらどうだろうか。大変有意義な御提案ではございますけども、現時点での生活道路としては、速度抑制を考えて、歩行者の方には下の段で広く丁寧に管理をさせていただきますので、そういったことを御利用いただきたいと。自転車につきましては車両でございますので、交通ルールに沿った形で通行していただければと思います。以上です。

5 番 田 代 その御意見、よく分かりました。一方で土地利用という見方があります。根石地区は調整区域です。古い方は御存じだと思うんですけども。昔、前田屋外美術が工房を造ろうという予定地が1ヘクタール弱ぐらいあると思います。そこから今度は川下です。坂本地区になります。庶子の坂本地区。そこについては市街化調整区域です。かなりあの堤防沿いって細長く、ずっと土地が空いてるんですよ。先ほどお話ししましたように、前田屋外美術の工房を誘致しようとしたときに、山北側が護岸道路沿いにそこまで6メートルぐらいのね、開発道路にできるような道があって、すごい広くなってるんですよ。大沢から下は今御存じのように狭い状況になってます。町長、これ一つの考えなんですけど、土地利用という考えからこの道路を、先ほど5メートル幅員の生活道路ってありましたけれど、6メートル道路にして、あと1メートル多くして、そちらに住宅なのか工場なのか事業所なのか、そういった考えもあると思うんですけども。これを6メートルに拡幅すると、今計画幅員を5メートルから6メートルにすると、そのようなお考えはいかがでしょうか。

町 長 そういった検討もですね、実際我々の中ではしておりました。調整区域なのでなかなか住宅というようなことは、もう御存じのようにそんな簡単にはいかないということも我々もやってます。ましてや立地適正化計画を立てて、用途的に用途変更をするというようなこともなかなか難しいエリアだというのは承知をしておるところでもございます。ですので、5メートルが6メータ

一にできるかどうかというのは、道路の河川区域だとかそういったようなバランスを考えながらやった結果、5メートルしか取れないねっていうふうなところの議論に今のところ落ち着いてるところでありますんで、広げられるのであれば広げたいところもありますけども、ちょっと今のところ我々の分析というか、現場の河川区域だとかいうのも含めながらいったときには、5メートルが精いっぱいだなというふうな判断をしてるところでもございます。以上です。

5 番 田 代 今、町長、調整区域というお話ありましたけれど、私は根石については調整区域と申し上げました。そこの前田屋外美術のところまでは、6メートルの接道ができてます。私が今もう一つお話ししたのは、庶子地区です。根石は調整ですけれども、庶子の坂本地区です。そこは市街化区域です。道路沿いに民地が細長くあります。そこ辺りは将来土地利用ができるという考えから、6メートルでも、もう1メートル増やして6メートルでもよろしいのかなというふうにお伺いしたつもりですので、再度お答えをお願いします。

町 長 土地利用ができるのであればですね、その土地利用ができるところはそういった感覚の中で検討するのは可能だと思います。その辺も含めてよくよく検討させてください。以上です。

5 番 田 代 そのようなことで、土地利用という考えからもひとつ御検討のほうお願いしたいと思います。

2点目に移ります。コロナ感染拡大の時期のため、城山、中里、かなん沢、宮前自治会に回覧で意見募集したと。住民の声について回覧で意見募集したと。そのときに4点、大きく分けると意見があったと。1つ目については、利便性が向上し町民の増加につながる。2点目が、車両の通行が可能になるのはうれしい。3点目がですね、今度は懸案事項ですね。見通しがよすぎて速度超過が心配である。車両や歩行者が混在し危険であると。この大きく分けて4点が住人の方から意見が出たと。私も一番心配してるのは、一般質問でお話ししたように交通事故ですよね。それで特に小さいお子さんが自転車とか飛び出したりとか、そういうことが真っ直ぐの道路ですから非常に心配し

ております。ですから、町民の声、沿線住民の声を聞いていただきたいというふうにお伝えしました。それで、それに対して今回の回答は、安全で安心して通行ができる整備を行うことを念頭に調整していくということです。この後のことなんですけれども、この3月に平面計画図、それとか橋の図面などの詳細設計ができるというふうにこの事業概要には書いてあります。

そこでですね、先ほど懸案事項である速度超過による交通事故。特に小さなお子さんの人身事故。これを防止するための対策、そういったものを盛り込んで計画していくと思うんですけどね。住民ファーストと考えて、そういった危険性はクリアしてるよと、そのような説明についていつごろ行うのか。取りあえずは回覧で意見募集した。で、上がってきたのが今の4点。それを踏まえて設計も今進めてると。そうすると今度は実際に地域懇談会開いて、住民の方に納得していただいて進めるのが正攻法の手法だと思うんですよ。そのお考え、スケジュールについてはどのようなお考えなのか。お願いします。

参事兼まちづくり課長　それでは御質問にお答えいたします。まず地域における説明会等につきましては、現在議員おっしゃられたとおり、今、橋の図面ですとか平面の図面を校正しながらですね、精度の高いものに変えております。それと併せてですね、神奈川県河川区域内を道路をつくる箇所です。占用をですね、河川占用という形で占用が取れないとですね、最終的に道路ができるのかどうかというところがございます。今、去年の11月頃、県に提出を、一旦ですね、まず事前協議ということで、県西土木事務所に今提出をして、県庁のほうに資料が回っています。その中でいろんな意見を頂いて、改めて道路の断面である幅員とかですね、そういったこと、また構造的なことが決まっています。そういった中である程度そういったもののめどが立った時期に、しかるべき時期に、地域の皆様にお知らせをして、この道路について皆様と一緒に造ってきたいというふうに考えております。以上です。

5 番 田 代　今、県との協議中だと。河川占用許可の目安が出てきたら地域説明会を行うと。そのときに住民に納得していただくと。そういうスタンスで、これは

町長ですね。町長、やはり交通事故の心配出ると思うんですよ。説明会を開いたときに住民の方が納得する、それでゴーとなると。このような考えでよろしいでしょうか。

町長 当然そうなる、そうならなきゃいけないと思います。ただ、いろんな多様な御意見があると思いますからね。100%の納得でゴーするのか、その納得の仕方の内容によってまたゴーするのか。それによって最終的には我々が責任を持って対応していかなくちゃいけないかなというふうには考えています。以上です。

5 番 田 代 確かにいろんな意見出ると思います。私はお伝えしたいのは、先ほど何回もお伝えしてるように、小さな子供、または高齢者の交通事故。それがやはり一番沿線住民にとっては悲劇なんで、それをクリアしていただくと。そのようなことで進めていただきたいと思います。

最後に3番です。ただいま高橋参事から概略の説明、事故防止対策等、いろいろ聞きましたけれども、もう少し詳しく聞かせてください。まず初めに令和4年の4月、4か所の交通量調査、これを行ったと。山北以外町内3か所のを行ってるんですけども、これは場所はどこでしょうか。

参事兼まちづくり課長 交通量調査ですけども、まず1か所目が山北町の向原の交差点、その次がですね、数を拾ってるのは庶子の交差点です、246の庶子の交差点。県道と246が分かれるところ。町内に入ってくる、松田のほうに入ってくる246本線と県道で分かれる、警察署のほうに行くほう。そこの分岐ですね。その手前で向原東というのが実はあってですね、246に合流するところもあるんですけども。実は実際に計っているのは筆屋さんの前。筆屋さんの前を計ったのと向原の交差点。それ以外のところは交通センサス、もう国のほうで交通量が出てますので、それを使って割合を出していくというやり方です。で、そうなります。

5 番 田 代 本日の回答にもありましたし、この資料でもその予想交通量出ております。復唱させていただきますと、現在800台が970台、170台ぐらい増えると。ピーク時の7時から9時は1時間当たり13台の増加だと。5分に1台ぐらいなん

でそれほど増えないよというお話なんですけども。私はある程度それが知れてくると、もう少し増えてくるのかな。今その台数だから安全だっていう考えに立ってると思うんですよ。ところがロコミでだんだん、こういう道があったよということで、増えてくるような気がするんですけども。この辺は将来の予想台数をどのように出されたのかね。増える心配、この数字で収まるのかね。その辺についてね、少し不安なんで、詳しくお願いします。

参事兼まちづくり課長 あくまで推計でございます。机上での数値でございますので、これが本当に正しいのかと言われると、まだまだ精査の余地はあると思いますけども。この数値はですね、各おのおのの分担率、道路の分担率、どれがどれだけ負担をするのかという計算上から成り立っています。それとこの増える台数は、筆屋さんのとこの交差点で拾ってるということは、そのまんまJRの前を通過して新松田に送っていく方を、という意味で拾ってみました。でも実際には筆屋さんの角を曲がったからといってそっちに行くわけじゃなく、変な話が仲町商店街の駐車場を借りていらっしゃる方とか、そういった方もいらっしゃるので、一概にそれがそのまんま川を通る、堤防を通過して増えるのかというふうですね、そういったわけでもないんですね。ですので、これはいい数字なのかなというふうに考えてますし、将来交通量としてはまずまずいい数字で上がってるのかなというふうにも考えてますし、またそれが違ってきたときはそれなりの安全対策をしていくというふうになると思います。以上です。

5 番 田 代 今のお話で、交通量がそれほど増えなかったとしても、直線なんですよ。それとあと直線のあとに新十文字橋の下、非常にネック箇所になって狭いですよね。この関係について前にこの資料の説明があった全員協議会で課長にお尋ねしたときに、今回の工事は山北境の大沢からおとり屋さんのある庶子坂本までだと。それ以外の場所については工事をしないということで、先ほどお伺いした総事業費1億5,590万、これを予定してると。このような考えでよろしいかということで、まず確認です。

参事兼まちづくり課長 先ほどお答えしました数字については、この路線のみの、今計画をしてると

ころのみの金額でございます。

5 番 田 代 仮にバイパスが難しい、バイパスももう少し検討してみると、前向きな回答なので、今の1.1キロの道路以外にこのネック箇所、これが私はすごい大きなポイントになると思います。その場合にバイパスをやった場合に、もし県との協議でできるとしたら、ざっくりです、どのくらいかかるのかな。橋梁だから結構かかると思います。それと、あともう1点御提案があった実現性の高い新十文字橋下の町道、北村おとり屋さんから水防倉庫までのネック箇所。ここのところを広げると。カーブの部分を広げたり、河南沢橋、その拡幅をすとお話あったんですけど。これについて2種類、ざっくりですどのくらいでしょうか。

参事兼まちづくり課長 まずバイパスの橋梁なんですけども、ちょっと全く形式…形式というか、橋梁の形式も決まってないので、橋の形で値段変わってきてしまうのと、それからどれだけスパンを飛ばすのか。例えば野球場のところだけは石積みを護岸を造って少し盛土をしてきて、最後の河南沢のとこだけは橋で渡すとかっていう形になりますので、そういった感じで金額は相当動いてくると思いますけど、億は間違いなく行くでしょうと。それから今おっしゃられた橋梁、河南沢橋の拡幅とその交差点の視距改良なりということになれば、1億まではいかないでしょうけども、数千万の単位のお金は必要となってくると思います。以上です。

5 番 田 代 では、最後に町長にお伺いします。私は8年度までに大沢境の、山北町境の大沢から1キロの工事、これはある程度いい面もあるんでね、賛成はさせていただきます。ただ、それで通過車両が来ると、今やり取りした新十文字橋の下、これについてはやはり結構重要な問題だと思います。今でも桜まつりあたりのときかなり混み合って、多いから事故が起きてないかもしれない。多すぎて。しっかり警備してるから。それが今度よそから来た人がまっすぐ、すうっと来ますよね、左岸道路を。それが今度ネック箇所になったときに、すごい危険な感じがします。

町長にお伺いしたいのが、バイパス化は今の話、億でもかなりの額の億円

になってしまうと思います。今できることは、十文字橋の下の町道の拡幅と、河南沢橋ですか、それを拡幅して、少しでも地域の住民の方が安全が守れて生活しやすいというのがベストだと思います。これについて、先ほどの高橋参事の話だと、約1億5,590万かかると。これにプラスして数千万、1億まではいかないというお話なんでね。一緒にセットでやっていただくと。そうすれば本当に安心・安全な道路に近くなるのではないかというふうに私は考えます。町長としては、この8年度までの計画期間にその新十文字橋のネック橋の改修、これをされる考え、これについてお伺いしたいと思います。よろしくをお願いします。

町長 恐らく今後地元の方々といろんなお話をする中で、そういった面での要望も当然上がってくるというふうに想像をしています。やはり使う方が安心していただくような道路を造っていくのがもう大前提になってきます。ですので、それに必要な対応はしつつ、やっていくと。本当にバイパスみたいなのができると、ほんとね、いいなあというふうに思ってますけど、やっぱりそれにはやっぱりハードルが結構あるんで、検討しないわけじゃないんですけども、そういう夢を持ってはいます。御提案頂いたところもありますしね。夢持ってやっていかなきゃいけないんですけど、やっぱりちょっと現実も並行してやっていかなきゃいけないに当たっては、何がどういった格好で有効なのか。むしろ一旦ああいったとこでスピードを落とさせることによって、お互いの安全面を確保できるとかいうこともあります。あとあの辺、新十文字橋のピアがあつたりとかして、見通しが悪いところもあつたりするんですよ。だからあの辺のことなんかからいろいろ検討もしつつ、可能なことをとにかくできることをやっていきたいとは考えてます。以上です。

5 番 田 代 再確認させてください。この8年度までで1億6,000万かからないですよ、概算工事費では。それに今のネック箇所の道路改良、これあたりを一緒にセットでやっていただければ、交通事故がかなり危険性が低くなるというふうに私は考えます。8年度までの供用開始と併せて御尽力いただけないかという、期限を今示した質問です。よろしくをお願いします。



り危機管理上の道路としての機能性を果たすためにも必要だというふうに考えてますので、これはほんと、補助金頼みのところもありますけども、時間をかけてでもやらなきゃいけない事業だというふうに考えております。以上です。

5 番 田 代 代では最後、締め言葉として、何と言っても町民の安心・安全のための町道だということを前提に、お金の問題もあるでしょうけれども、8年で終わって、そのままではなくて、事故がもし起こってしまったらということを考えると、その次にこういう手だてがあるんだよというふうな、新十文字橋の下の町道のネック箇所の解消について、強く要望させていただいて私の質問を終了とさせていただきます。ありがとうございました。

議 長 以上で受付番号第5号、田代実君の一般質問を終わります。